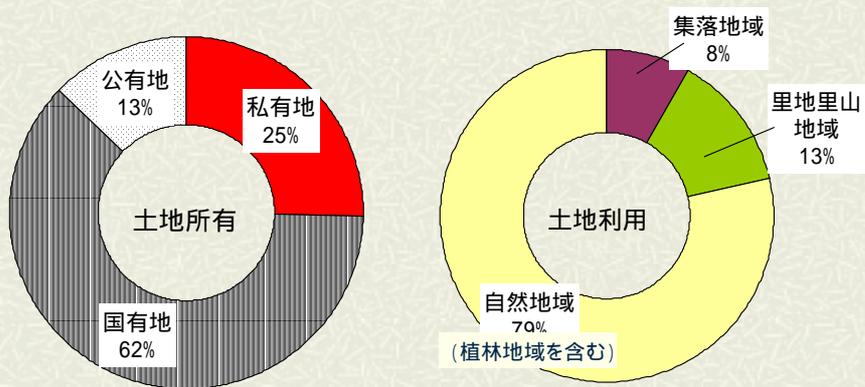


国立公園内集落地・里地里山の 風景管理の現状



国立公園内の土地所有 及び土地利用の状況



里地里山とは(新・生物多様性国家戦略)

- 様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域
- 集落をとりまく二次林、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される。
- 絶滅危惧種を含む多種多様な生物の生息・生育空間、都市近郊では都市住民の身近な自然とのふれあいの場、人間の生活・生産活動の場、多様な価値や権利関係が錯綜する多義的な空間

生物多様性と里地里山

RDBに記載されているチョウ類とその危機要因としての「遷移」

ランク	全タクサ	うち「遷移」が危機要因であるタクサ	その割合	代表的な種
絶滅危惧I類	14	9	64.3%	クロシジミ、ヒョウモンモドキ
絶滅危惧II類	24	15	62.5%	アカセセリ、ギフチョウ
準絶滅危惧類	40	9	22.5%	オオムラサキ
計	78	33	42.3%	

タクサ：種の下まで含まれている分類の単位、亜種を含めた数

国立・国定公園の代表的な里地里山の風景

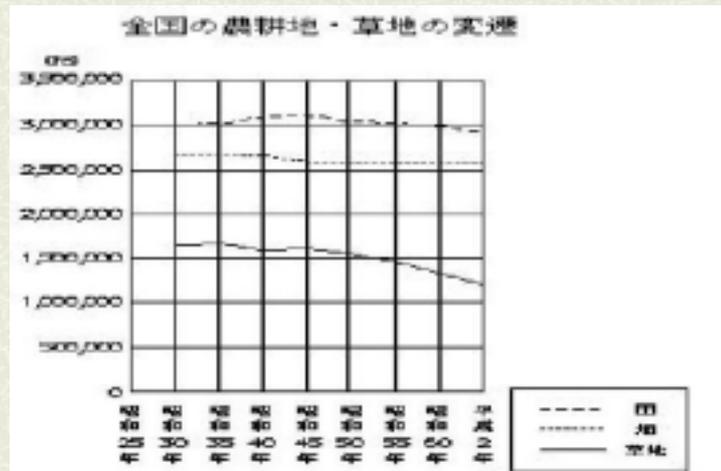


阿蘇くじゅう国立公園



上信越高原国立公園

全国の里地里山の面積の推移



出典) 自然風景地における農耕地・草地の風景保全管理手法に関する調査研究報告書、(財)国立公園協会、平成7年

荒廃した里地里山(草原風景)



牧畜管理によって維持された草原



森林化の進んだ草原

写真はいずれも乗鞍高原

保全すべき草原の分布



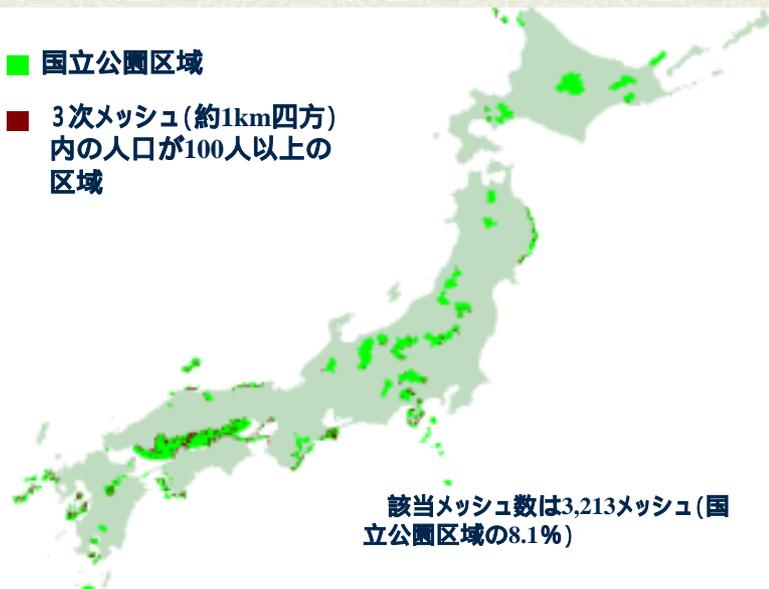
全国で展開されている草原の保全活動

(営農活動以外の活動)

- ・網走国立公園小清水原生花園 (火入れ)
- ・富士箱根伊豆国立公園仙石原 (火入れ)
- ・八ヶ岳中信高原国立公園霧ヶ峰高原
(ボランティアによる雑木処理)
- ・大山隠岐国立公園三瓶山 (刈払い、野焼き)
- ・秋吉台国立公園秋吉台 (山焼き、助成)
- ・西海国立公園鬼岳 (火入れ)
- ・阿蘇くじゅう国立公園阿蘇、久住高原、飯田高原
(野焼き、助成、ボランティアによる支援)

国立公園区域内の集落地の分布

- 国立公園区域
- 3次メッシュ(約1km四方)
内の人口が100人以上の
区域



国立公園の風景を構成している集落
- 伝統的集落 -



竹富島の伝統的集落
(西表国立公園)



山陰の漁村
(山陰海岸国立公園)

国立公園の風景を構成している集落
- 門前町 -



宮島(瀬戸内海国立公園)
出典)世界遺産登録資料



琴平山
(瀬戸内海国立公園)

国立公園の風景を構成している集落 - 温泉町 -



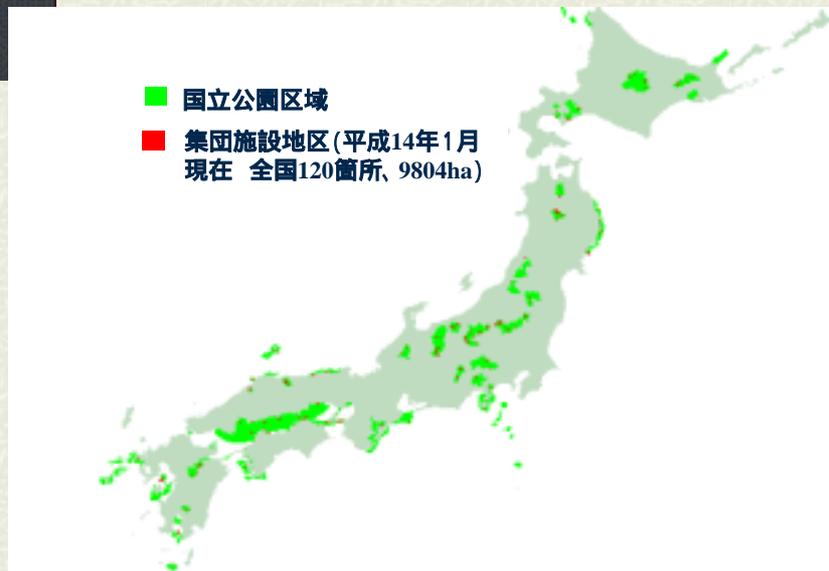
城之崎温泉
(山陰海岸国立公園)

集団施設地区とは

- 国立・国定公園の利用及び管理のための施設を総合的に整備し、快適な公園利用の拠点とする地区



集団施設地区の分布



国立公園集団施設地区利用者数

平成13年度 国立公園集団施設地区利用者数等

	国立公園利用者数	
	うち、集団施設地区利用者数	うち、宿泊者数
人数(千人)	368,000	102,220
	全利用者の27.8%	集団施設地区利用者の22.5%

集団施設地区のタイプ

タイプ		施設数	集団施設地区の例
既存拠点型	大拠点型	16	層雲峡(大雪山)、阿寒湖畔(阿寒)、乗鞍高原(中部山岳)、大山寺(大山隠岐)、雲仙温泉(雲仙天草)
	中小拠点型	37	上高地(中部山岳)、羅臼温泉(知床)、中宮温泉(白山)、長者原(阿蘇くじゅう)
新規整備型	宿舍中心型	34	鹿沢国民休暇村(上信越高原)、指宿(霧島屋久)、南淡路(瀬戸内海)
	園地中心型	25	北九十九島(西海)、奥多摩湖(秩父多摩甲斐)、畑引山(富士箱根伊豆)、大台ヶ原(吉野熊野)
	未整備	4	小渋川広河原(南アルプス)

集団施設地区の例 - 1



洞爺湖集団施設地区
(支笏洞爺国立公園)

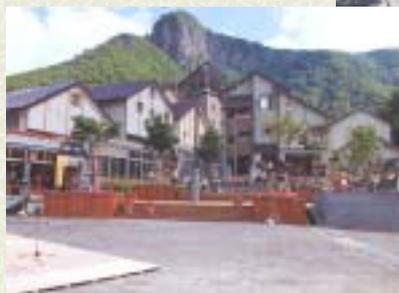


集団施設地区の例 - 2



中宮祠集団施設地区(日光国立公園)

風景形成に向けた取組事例 (国立公園内 - 層雲峡)



風景形成に向けた取組事例 (国立公園内 - 雲仙温泉)

- 地域住民の声を反映した「まちづくりのための雲仙プラン50」を作成し、将来に向けた方針を地域で共有。



風景形成に向けた取組事例 (国立公園外 - 黒川温泉)

- 敷地以外の看板を撤去。
- 樹木を植栽し、適度に建物を隠す。
- 「旅館が部屋で、道が廊下」地域ぐるみでもてなす。



風景形成に向けた取組事例 (国立公園外 - 小布施)

- ・ 北斎館、栗菓子屋を中心として地域ぐるみで街づくりを行っている。



今回議論いただきたい事項

里地里山の風景形成と集落地の風景形成に共通する特徴

土地や建物の権利関係が複雑で、行政だけで対応することが困難
風景形成の担い手になるのは地域住民



地域社会など多様な主体の参加による
自然公園の風景の形成

- 参加協働型風景形成の提案 -